

学校通信



喜多見



No.4 令和7年7月17日

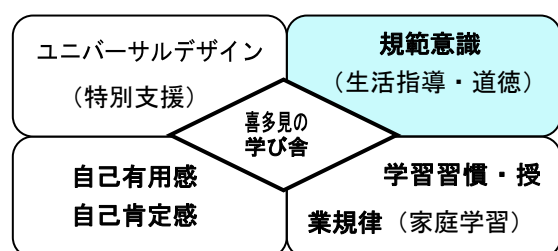
喜多見の学び舎
世田谷区立喜多見中学校
校長 紺谷 祥一

〒157-0067 東京都世田谷区喜多見4丁目20番1号 TEL 03-3417-4971(代)
E-mail: dai131@setagaya.ed.jp <http://school.setagaya.ed.jp/tkitami/>

「個性の尊重」と「規範意識の定着」

校長 紺谷 祥一

先月号では「学習習慣」について話題としました。その後、4日（金）の進路説明会や単P研修会でお会いした何人かの保護者の方から、『うちの子は宿題すらやっている姿を見せません。もっとたくさん宿題を出してください！』、『多くが中だるみする2年生の時に頑張ると差が開く、という進学塾の先生の今日の言葉は響きました…』など、やはり勉強への関心は各ご家庭とも高い様子です。喜多見中生は、穏やかで真面目な子が多いとの評判がある一方で、のんびり屋でマイペースな面もよく指摘されるところ。昨年度に引き続き今年度も月に一度の「きたみ人権デー」を展開していますが、今年度はその講話を各先生方をお願いしています。10日（木）は、主幹教諭で社会科の漆沢先生が担当でした。『日本は豊かな国であり、学校で学習できる“権利”をあまり意識せずに過ごしている。むしろ、勉強を“義務”としてのみ捉えてはいないだろうか？』、という大切な問いかけがありました。「やらなくてはならない」と強いられると、反発したくなるもの。「やるべきことをやる」というのは意志の強さが必要であり、規範意識とも相互に関係していると感じます。規範意識は学び舎での合同研修会での対象領域の一つにもなっており、自分を管理できる力として大切です。



子どもたちの規範意識については、昨年度の同研修会でもたびたび話題になっていました。ある喜多見小の低学年を担当する先生の、『階段を駆け上っていた子をルール違反ですよと注意したところ、上級生だって走っていると言って素直に話を聞けない。規範意識低下の根は深いと感じる。』という話が印象的でした。経験上、喜多見中で起こる生活指導上の問題は比較的少ないと感じます。しかし、ひとたび起きる問題行動は小学校ほど小さくありません。

そして、当該の行動を整理して関係生徒と一緒に振り返りをすると、特に善悪の分かれ目ではその「ターニングポイント」が必ずあぶり出されるものです。一人でやってしまった失敗なら、「もう一人の自分」との対話（＝葛藤）の有無を問う指導をしたりします。二人以上の問題行動では、悪い結果に至るまでに展開された実際の対話の中に多くの場合は原因の種があるものです。『いいね！』と煽ることなく、『それは、まずいよ！』や、『ダメだよ、やめておこうよ…』等の心のブレーキを相互にかけ合える関係性を確認したりします。

規範意識の低下は子どもに限ったことではなく、社会問題の一つでもあります。かつては社会規範から明らかに逸脱していたことも、「個人の自由」や「個性」として捉えられてしまうような風潮も見受けられます。この背景には、集団や社会のルールよりも個人の価値観が優先されるような個人主義的傾向が強くなっていることがよく指摘されます。また、匿名性やフェイクニュースに振り回されがちな「真実の揺らぎ」を助長するデジタル化の影響、「世間体」や「恥」の文化の低下、家庭と教育の変化などもたびたび原因として列挙されるところです。こうした大人が生み出した潮流のなかに、多感な子どもたちが育っているのです。「何が正しいかわからない」というのは、生活上でよく体験する真実です。そして、個性が大切であるというのも一切異論のないところでしょう。しかし、自由だから何をしてもいいという態度は社会では決して受け入れられません。「個性を相互に認め合える力」と「自己を律することのできる規範意識の定着」— これらは両立していかなければならない課題です。

「してはならないこと」・「すべきこと」をきちんとわきまえていること、自分を大切にしながら相手も大切にできること、困っている人や弱い人には適切に気や心を配ることのできること、価値観が多様化しているからこそ、自分の言動に対して常に謙虚であること、等々、中学生には成長に応じてしっかりと身に付けさせたいところです。教員が信頼を失墜させている事故が後を絶たず、悔しい思いの連続です。しかし、子どもたちの一番身近な私たち大人がモデルとなって範を示し続け、子どもたちに規範意識の大切さに気付かせることは大人の責務と感じます。“**団体戦に強く、個人戦にも強い喜多見中生**”は、今年度の学校目標サブテーマです。各ご家庭におかれましても再度家庭のルール等を確認いただき、子どもたちにとって有意義で実り多き夏休みになりますよう、引き続きご理解とご協力をお願いします。

各学年およびE組の生徒たちの活動の様子をお伝えします

1年生の様子から（小柴 なぎさ）

長いようで早かった1学期が終了し、いよいよ夏休みに入ります。振り返ると運動会や河口湖移動教室、定期考査や日々の諸活動など、中学校生活の行事や日々の生活に忙しく、慌ただしい毎日でした。その中でも授業や係の仕事、個々の活動に手を抜くことなく勤しむ姿が見られ、日々みなさんの成長を感じます。時間の使い方や友達との関わり方、授業への取組や自宅学習の進め方などまだまだ課題はたくさんあると思います。それでも中学生としての1学期をしっかりと過ごせた自分を褒めてあげましょう。そして2学期には「こうありたい自分像」をイメージし、少しでも近づけるように夏休みに準備してください。元気な姿で2学期のスタートを切れることを期待しています。



2年生の様子から（高須 宏明）

成長へのきっかけ

「続々キャリア教育」「CYD（キャッチ・ユア・ドリーム）」「マナー講座」……これらが、6月25日号の学年だよりの見出しです。「今後の自分のキャリアをどう考えていくのか」、「社会人として将来どう生きていくのか」といったことを、前向きに学習する時期に2年生もなってきたと言えます。そして、同じく7月9日号には「近づく『世代交代』の時」という見出しがあります。ここからは、生徒会活動でも部活動でも、3年生が担ってきた責任を今度は2年生が負って、学校の中心学年へと成長を遂げるべき時期になった、ということを読み取ることができるでしょう。そんなこの時期の空気をどことはなしに感じ取って、生活や学習に向かう態度を変えてきている生徒が、2年生に徐々に増えてきているように感じます。期末テスト前後から猛暑の日々が続き、「早く夏休みにならないかなあ」という声もどこからか聞こえては来ますが、しかし、「辛いことや苦しいことから逃げたくなる」自分自身からは、どこに行っても逃げられません。である以上、今のこの時期の成長へのきっかけを掴んで、ぜひとも自分のステップアップを図っていきたいですね。

3年生の様子から（西城 有里加）

最上級生としてスタートした1学期、72日間がもう間もなく終わります。振り返ってみると、2年生の時よりも授業態度や提出物の状況が改善している生徒がいます。定期考査で大きく点数を伸ばした生徒もいました。「出前授業」や「第1回進路説明会」を経て、自分の進路をより具体的に見据え、心身ともに着実に成長している様子が見られます。一方で、まだ伸びしろがあるなど感じる面もあります。朝読書の時間に登校が間に合っていない人がいたり、休み時間に廊下で騒いでいたり、チャイム着席が意識できていなかったりなどです。一時頑張ることは誰にでもできます。でも、大切であり難しいのは、継続していくことです。

数日後には夏休みに入ります。きっと例年とは違う夏になるでしょう。毎日勉強に追われ大変な日々になるでしょうが、決して逃げ出さないでください。進路は誰かが用意してくれるわけではありません。自分の手で切り開いていくしかないので、また、特別なことでもなんでもなく、すべての人が通る道でもあります。困った時や不安なことがあった時には、1人で抱え込まず学校の先生に相談してください。2学期に、またひと回り成長した姿を見せてくれることを楽しみにしています。

継 続

E組の様子から（桐山 侑紀）

新しいメンバーでスタートしたE組の1学期が終わります。4月には1年生の他に2、3年生にも新しく仲間が入ったので今年はどんなE組になるのかなあ楽しみでした。1学期は運動会や1年生の移動教室、E組内で陶芸やものづくり活動などを通して各学年の仲が深まったのと同時に、E組としての団結力も深まっていったのではないかと感じています。E組では生徒それぞれのペースで授業や休み時間を過ごしていて、普段あまりお互い干渉し合わない生徒たちですが、一緒になって何かをするとき、お互いへの思いやりや協力の気持ちを存分に発揮する生徒たち。その姿に私たちE組職員はいつも胸を熱くさせられます。

動き始めてみる

もうすぐ夏休みが始まりますが、1学期に取り組んできたことや継続して頑張ってきたことを今後も自身の糧にするために、ぜひ夏休み中も何かひとつ、挑戦したいことを掲げて取り組んでみてほしいと思っています。「できないかも…」と思うこともありますが、まずは「とりあえずやってみる」「やってみよう」と努力をするなど、動き始めてみるのはいかがでしょうか？1学期それぞれに学習や部活、委員会など頑張っていた皆さんはきっと夏休み明け、キラキラした姿を見せてくれると今から楽しみにしています。健康や安全面には注意して成長の夏休みを過ごしてくださいね。

今度の都立高校入試に制度の変更があります！

- ！ これまで一部の全日制課程（21校）で実施してきた分割募集がなくなり、第一次募集で選抜されます。（※昼夜間定時制では、これまでどおり継続して分割募集されます）

これまで分割募集を実施してきた21の高校（全日制課程）

日本橋高校、八潮高校、蒲田高校、田園調布高校、深沢高校、竹台高校、大山高校、田柄高校、青井高校、足立新田高校、足立東高校、淵江高校、南葛飾高校、府中東高校、山崎高校、東村山高校、羽村高校、秋留台高校、野津田高校、中野工科高校、練馬工科高校

令和8年度入試からも引き続き分割募集を実施する5の高校（昼夜間定時制）

一橋高校、浅草高校、荻窪高校、砂川高校、八王子拓真高校

喜多見中の先輩たちも何人か通っているな…

- ！ これまで4月上旬に行ってきた通信制課程の入試が、前期選抜と後期選抜の2回に分けて実施されます。前期選抜は、第一次募集と同じ2月下旬に実施されます。（※後期選抜は、4月上旬実施）

※通信制課程では、自宅等で学習し、レポートなどの添削指導を受けながら、定められた日（月2日程度）に登校し、面接指導を受けることで学習を進めていきます。都立高校の通信制課程設置校は3校！

一橋高校、新宿山吹高校、砂川高校

通信制課程を選ぶ人がだんだん増えているんだ…

- ！ 区内にある、都立深沢高校（田園都市線 桜新町徒歩15分）が「新たな受入環境充実校」としてリニューアルされます。（※生徒の多様性に幅広く対応できる学校として、昼夜間定時制高校のチャレンジスクールとは別に、柔軟できめ細かな教育課程や教育相談体制の充実を図った新たなタイプの学校です。）

深沢高校が想定している入学生徒

- ・自らの個性や能力を発揮し、充実した学校生活を送りたいと考える生徒
- ・基礎学力を身に付け、目標に向かって挑戦したい生徒
- ・小中学校で不登校を経験したが、学び直したいと願う生徒

つまり、チャレンジスクールの良さを取り入れた、全日制高校なんだ。登校時間（8時30分から10時30分までの間）も選択可とのこと！

さらに、不登校経験のある生徒にも配慮した新しい入試の方法も導入される予定です！

※学力検査の得点と調査書点の比率について、受検者の得点として7:3と10:0のいずれか高い方を採用して合否を決定

○ 東京都教育委員会のホームページには詳細な情報が掲載されています！

わたしの授業

今月は田村 健 先生（2年担任・数学科・野球部顧問）の授業紹介です。4月の着任以来、グイグイと生徒たちの中に入り、積極的にコミュニケーションをとる姿が印象的です。その甲斐あって、一人ひとりの得意や苦手など、喜多見中生の学習実態を早々に把握して授業に臨んでいます！

“数学との距離が近づく生徒が増えてほしい”これが私の願いです。

今まで出会ってきた生徒の中で、印象的な生徒がいました。一人は、数学のことを“数楽”とノートに書くほど数学を好きになり、もう一人は、“数が苦”と書くほど数学に苦手意識がありました。数学ができずに距離が遠くなってしまう生徒を減らし、できる喜びを一度でも多く経験して学びが身に付くような授業を目指しています。

それでも、テストの結果を見ると、思うように結果に表れない人が多いと感じています。テスト後は「よくできました！」と言うものの、テストが返却されると「思ったより取れなかった…」と口にする生徒がたくさんいました。丁寧に解説をすると理解できる人がほとんどです。つまり、“自分が本当に理解できていることが何であるのかわかっていない”生徒が多いのだと感じています。そのため私は、毎授業の最後の5分を使い、振り返りノートをつくっています。今回の授業で、①わかったこと・できたこと、②わからなかったこと・できなかったこと、③これらを踏まえてどのように勉強するか、の3点をまとめさせています。テスト前にも、自分で書いたことを確認するようにさせ、何を勉強すべきかを確認するように指導しています。

中学生は、心身ともに発達するのですが、同時に“メタ認知能力”も大きく発達していく時期です。自分の理解度を深め、学習を調整できるようメタ認知能力を高めてほしいです。そしていずれは、数学だけでなく、他の教科や学校生活、今後の人生においても生きるような力となることを願っています。



通知表は、「ABCの観点」に注目！

終業式では、1学期の通知表をお渡しします。評価評定の基準については、各教科担当教員から事前に授業で説明をしています。どうしても、評定の1～5に一喜一憂しがちですが、評定の構成要素（内訳）となるABCの各観点について注目してください。ABCにはそれぞれ評価理由が込められています。

特にC（またはB）については、その原因を探ってみてください。その際、なぜC（またはB）なのかという点だけでなく、どうすればB（またはA）になるかをお子様と話題にしてみてください。いずれにせよ、言葉にして具体的に分析することが大切です。ご家庭でその答えがわからない場合、教科担当に「どうすればB（あるいはA）になるか」を直接ご相談されることをお勧めします。22日からの面談等もぜひ、ご活用ください。

A B C

図書室を利用しよう！

時間のある夏休みには、読書をしましょう。また、**涼しい図書室は勉強での利用もお勧めです！**学習のプロである先生を見つけて質問するのもOK。夏休み中は是非、喜多見中の図書館を利用しましょう！！

◎ 夏休み特別期間中 4冊まで貸出OK

（7・8月中の貸し出し。返却は9月12日まで）

【開館日時】

- ・7月：22日から31日
- ・8月：1日から8日、25日から29日
- ・午前9時30分から午後5時00分まで
- （但し、12時30分から1時30分まで閉館）
- ※いずれも土日を除く、平日のみ

夏休み中に気をつけるべきことを再度ご家庭でもチェックしましょう！

夏季休業を前に、学校では特に以下の点について指導をしています。各ご家庭におかれましても、お子様と再度確認をいただき、**事故の未然防止**に努めてください。（**□に✓を入れながらご活用ください**）

- 「早寝・早起き」など規則正しい生活を心掛け、十分な休養と栄養バランスを考えた食事を摂るなど、身体の抵抗力を低下させないようにすること。
- 飲酒・喫煙、万引き等は絶対にしないこと。また、**友人同士の金銭の質借や性に関わる問題行動に注意**する。
- **スマートフォン等の使用について**、コミュニティ型のWebサイトや無料通話アプリケーションの利用に関わるトラブルを起こさない。時間を決めて使用するなど、過度な使用や依存に十分注意する。（**※LINE等の利用をめぐるトラブル**は少なくありません。特定の人の心を傷つけることは「いじめ」です。また、けじめなくゲームに熱中するあまり、昼夜逆転型の生活に陥ったり、心身がゲームに依存してしまったりすることのないよう、自分を律すること。**※スマホ等は「保護者からの借り物」。**約束を守り、信頼を大切にしよう。）
- 道路では特に**自転車の走行の仕方**について注意する。加害者になった場合は大きな損害賠償を負う可能性があること、また、**万一事故が起きたときには子供だけで処理せず、必ず警察へ通報して対応すること。**
- 電話等による個人情報の聞きとりや**不審者に注意**すること。（**被害にあったら、迷わず110番通報**すること）
- 悩みを抱えた際には、身近にいる信頼できる大人にSOSを出す等、**決して一人で解決しようとせず、助けを求めること**がとても大切であること。（**相談窓口連絡先一覧**を配布しています）

ご協力への感謝とお願い

平素より本校教職員のライフワークバランスにご配慮いただき、感謝申し上げます。夏季休業期間中の**週休日・代休を含む「学校休業日」（8月13日から15日の3日間）**は日直も不在です。緊急連絡が必要な時で学校警備室（電話番号：3417-4972）も不通の場合は以下にご連絡ください。

世田谷区教育委員会教育総務課調整係（電話：5432-2652）※13日から15日

9月の予定から

- 9月 1日（月）始業式（給食なし）避難訓練 集団下校
- 2日（火）学習習得確認調査（3年生）専門委員会
- 5日（金）修学旅行保護者説明会（14:35～15:25 体育館）
- 8日（月）生徒会朝礼
- 9日（火）モーニングキャリア
- 11日（木）きたみ人権デー テスト1週間前につき部活動停止
- 12日（金）2年生職場体験事前訪問⑥
- 18日（木）**中間考査** ～19日（金）まで ※両日とも給食なし
- 24日（水）2年生職場体験（26日まで）
- 26日（金）**第2回進路説明会（14:35～15:25 体育館）**
- 30日（火）3年生修学旅行事前健診 PM

9月1日（月）始業式 予定と持ち物

- ◎ 8時25分までに登校 **元気な笑顔で再会しよう！**
- ・ 始業式：8時35分から
- ・ ①式 ②学級活動 ③授業 11時50分から避難訓練
- ・ 12時15分下校（給食なし）**上履き、体育館履き、宿題等を忘れずに！**

夏季休業中の相談室の開室日

7/24（木）、8/19（火）、8/26（火）

9月の相談室の開室日

日	月	火	水	木	金	土
31	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	1	2	3	4

【担当 SC】□：渡邊 ○：高瀬

【相談室直通】03-3417-5372

ご相談、お待ちしております！